

健保ニュース

第 174 号 平成 26 年 8 月 21 日

オークマ健康保険組合

愛知県丹羽郡大口町下小口 5-25-1

TEL 0587-95-0913

FAX 0587-94-3570

<http://www.okuma-kenpo.co.jp>

(ご家庭に持ち帰ってみんなで読みましょう)

第 195 回組合会のご報告

健康保険のみらいをみんなでつくる

あしたの健保プロジェクト

平成 26 年 7 月 22 日 (火) に「第 195 回組合会」が開催され、平成 25 年度の決算と事業報告が承認されました。

■当健保組合の財政状況

全国で 1,410 ある健保組合の平成 26 年度予算の収支は、合計 3,689 億円の赤字で、これは高齢者医療制度が創設された平成 20 年度以降、7 年連続となる見込みです。

この赤字の原因は、高齢者医療制度のもとで、国民健康保険等の赤字を補填するため、健保組合の国に納める納付金・支援金等の支出額があまりに大きいためです。特に前期高齢者納付金は、各健保組合の 65 歳から 74 歳の前期高齢者の医療費の金額に、定められた係数をかけて算定することになっています。そのため、前期高齢者の方の中で高額な医療費が発生すると、たとえそれが 1 件であっても、前期高齢者納付金の金額が何倍にも跳ね上がる可能性があり、健保組合の収支に大きな影響を及ぼすことになります。

そのような中、当健保組合の平成 25 年度の収支は、2 億 1 千 4 百万円の赤字となりました。平成 24 年度に比べ、赤字幅は約 3 千万円減少しましたが、平成 21 年度から 5 年連続して赤字が続いています。

赤字分は別途積立金を取崩して対応しますが、次第に余裕はなくなってきており、収支を改善するために、納付金・支援金等と医療費が膨らまないよう取り組んでいく必要があります。

医療費の削減には、「病気になるように常に体調に留意し疾病予防する」、「持病なども重症化する前に治療する」など、組合員の皆さまのご協力が不可欠です。当健保組合としましても、皆さまの健康づくりに結びつくよう、疾病予防事業や健康増進事業を積極的に推進してまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■平成 25 年度の概況 (人数は年度平均)

【健康保険勘定】

(前年比)

○被保険者数 (本人) 4,106 名 (+52 名)

○被扶養者数 (家族) 4,590 名 (△68 名)

○保険料率 1000 分の 80

事業主 (会社) 1000 分の 48

被保険者 (本人) 1000 分の 32

【介護保険勘定】

(前年比)

○第二号被保険者数 (本人) 2,217 名 (+15 名)

○第二号被扶養者数 (家族) 1,305 名 (+ 1 名)

○保険料率 1000 分の 16

事業主 (会社) 1000 分の 8

被保険者 (本人) 1000 分の 8

■平成 25 年度の収入支出決算

【健康保険勘定】

(単位：千円)

【介護保険勘定】

(単位：千円)

収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
健康保険料	1,884,175	保険給付費	1,078,860	介護保険料	245,323	介護納付金	202,563
調整保険料	31,120	納付金・支援金等	969,242			剰余金	42,760
財政調整事業交付金	25,046	保健事業費	70,403				
その他	23,590	財政調整事業拠出金	31,089				
不足金	214,410	その他	28,747				
収入合計	2,178,341	支出合計	2,178,341	収入合計	245,323	支出合計	245,323

【財産の保有状況】

(単位：千円)

区分	平成 24 年度末	増 減	平成 25 年度末	
健康保険勘定	法定準備金	547,185	0	547,185
	別途積立金	1,106,722	△214,410	892,312
	計	1,653,907	△214,410	1,439,497
介護保険勘定	法定準備金	92,440	42,760	135,200



■平成25年度の主な保健事業

● 疾病予防（受診者数）

○半日人間ドック	440名
○共同巡回健診	650名
○全国巡回健診	38名
○脳ドック	280名
○家庭用常備薬の配付	3,918名
○インフルエンザ予防接種補助	4,559名
○電話相談・メンタルヘルスカounseling	124名

● 体育奨励・体力づくり

○長島ジャンボ海水プール利用補助	447名
○長島湯あみの島利用補助	92名
○旅行補助（海・山の家）	583名
○健康ウォーク	126名

● 契約保養所 リゾートトラスト（エクシブ）

237組 713名

長島湯あみの島



エクシブ有馬離宮

● 保健知識の広報、紹介、その他

- 健保ニュースの発行（年8回）
- 育児専門誌「赤ちゃん和妈妈」の1年間無料購読（出産した加入者60名を対象）
- ホームページによる保健事業等の周知（随時）
- 医療費通知の配付（3ヶ月ごと）
- 啓蒙誌「女性がん検診のすすめ」の配付（がん征圧月間に合わせた単年度事業）

長島ジャンボ海水プール



● 特定健診・特定保健指導

- 特定健診の実施 1,076名
（半日人間ドック・巡回健診を含む）
- 特定保健指導の実施 50名

—特定健診・特定保健指導とは—

- 厚生労働省が健保組合に義務づけたメタボリックシンドローム対策の生活習慣病予防事業です。
 - 対象者は、40歳以上の被保険者と被扶養者です。
 - 被保険者については、事業主（会社）の定期健康診断の受診を特定健診の受診とみなします。
 - 被扶養者については、特定健診以外に、半日人間ドック・巡回健診の受診も特定健診の受診とみなします。
- 〔上記の特定健診の実施数は、当健保組合で行った特定健診・半日人間ドック・巡回健診の実施数です。〕

● 健康保険勘定の収入と支出

収入

健康保険料

1,884百万円
[86.5%]

（皆さまと会社から納めていただいた保険料）

調整保険料

31百万円
[1.4%]
（高額医療費に備えるための保険料）

財政調整事業交付金

25百万円
[1.2%]
（高額医療費に対する交付金）

その他

24百万円
[1.1%]

不足金

214百万円
[9.8%]
（別途積立金の取崩し額）

支出

保険給付費

1,079百万円
[49.6%]
（医療費等）

納付金・支援金等

969百万円
[44.5%]
（高齢者医療のために国に納める負担金）

保健事業費

70百万円
[3.2%]
（健康管理・疾病予防・健康増進のための事業費）

財政調整事業拠出金

31百万円
[1.4%]
（調整保険料の拠出金）

その他

29百万円
[1.3%]

「あしたの健保プロジェクト」をご存知ですか？

高齢者医療制度に対して、健保組合とその全国組織である健康保険組合連合会（健保連）は、健保組合の財政悪化に歯止めをかけ、国民皆保険を維持していくため、高齢者医療制度に公費（税金）を投入・拡充すべきという主張・要望を表明しています。

そして、これらの実現に向けた活動全般を「あしたの健保プロジェクト」と称し、健保連と全国の健保組合が共同で広報事業を展開しています。

「健康保険のみらいをみんなで作る」

あしたの
健 保
プロジェクト

高齢者医療費の負担はもはや限界レベル！

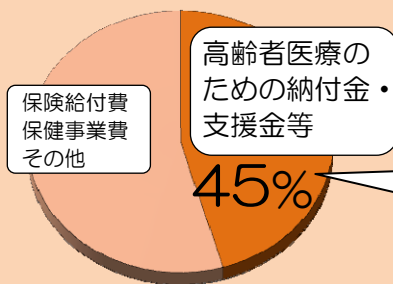
全健保組合の平成 26 年度の予算では、健康保険料に占める高齢者医療のための納付金・支援金等の割合は 45%となっています。（右円グラフ参照）

当健保組合も平成 25 年度決算では、保険料（調整保険料含む）約 19 億 1 千万円に対し、納付金・支援金等が約 9 億 7 千万円で、保険料に占める納付金・支援金等の割合は、約 51%（※）となっています。

このように、高齢者医療は確かに社会全体で支えるべきですが、現役世代の負担が非常に大きくなっているという現実があります。

（※）当健保組合の割合が、全健保組合の割合と比べて高いのは、当健保組合の保険料率（1000 分の 80）が全健保組合の平均保険料率（1000 分の 88.6）よりも低いからです。保険料収入が全健保組合の平均に比べて少なくなるので、納付金・支援金等の占める割合が高くなります。

保険料に占める納付金・支援金等の割合（全健保組合）



・納付金・支援金等の総額は
3兆3,155億円！
・高齢者医療制度創設前の平成 19 年度に比べ
約 1兆円も増加！

被保険者 1 人当たり
年間 **21.2 万円**にも
なります。

（健保連平成 26 年度健保組合
予算早期集計結果の概要より）

プロジェクトの特設 WEB サイトがオープンしました！

「あしたの健保プロジェクト」は、健保組合加入者の方に、健康保険制度や健保組合の現状、健保連と健保組合の高齢者医療に対する主張・要望等をご理解いただくことを目的のひとつとしています。

そこで、より多くの皆さんに健康保険について関心をもってもらうため、健保連が特設 WEB サイトをオープンしました。

下記アドレス、もしくはオークマ健保組合ホームページ内のリンク集からアクセスできますので、ぜひご覧下さいませようお願いします！

URL: <http://www.ashiken-p.jp/>

WEB 画面イメージ



お知らせ！

「スカイル内科・スカイル健康管理センター」でも 半日人間ドックの受診が可能となります！

現在、「守山内科・守山健康管理センター」と半日人間ドックの受診契約をしていますが、平成 26 年 9 月 1 日からグループである「スカイル内科・スカイル健康管理センター」でも、半日人間ドックの受診が可能となりました。

医療機関名…スカイル内科・スカイル健康管理センター
所在地…名古屋市中区栄 3-4-5 栄（スカイル）ビル 11F
電話…052-241-8200 健診日…月～土の午前中



平成26年 秋の健康ウォーク

《手ぶらで旅するセントレア

空港島ウォークコース》



健保連愛知連合会主催、「秋の健康ウォーク」をご案内します。

開催日：平成26年10月4日（土） 雨天催行

受付：セントレアガーデン 名鉄空港線 中部国際空港駅下車 0.5km

※午前8時30分から10時までにオークマ健保組合の受付までおいで下さい。

Quoカードと健保連の粗品を贈呈します。

ご注意！

- ・昼食可能な場所は、「飛行機見える丘」及び「旅客ターミナルビル」のみです。
- ・ウォーキングコースには木陰が全くありません。晴天時は、帽子等をご準備下さい。
- ・参加者用の駐車場はありません。

一般利用者に迷惑がからないよう、公共交通機関をご利用下さい。

参加料：無料（交通費は各自負担）

持ち物：飲み物、雨具等（必要に応じ各自）（ゴミは必ずお持ち帰り下さい。）

申込方法：①電話 or メール（事業所名、職場名、被保険者氏名、参加人数、電話番号（内線）をご連絡下さい。）

②下記の参加申込書の送付（FAX可）のいずれか

申込締切：9月10日（水）までに健保組合までお申込み下さい。

申込担当：オークマ健保組合 尾池

電話：0587-95-0913（内線921-3085）Email:c-oike@okuma.co.jp



健康ウォークのチラシ（申込後お届けします）を提示していただくと、セントレア内の商業施設にて優待を受けられる予定です。詳しくは、同チラシにてご確認ください。

- 荒天時の開催については、開催前日の13時から健保連愛知連合会のホームページで、開催か中止かをお知らせします。また、開催当日は電話でもご確認できます。（052-569-2130）



「健康ウォーク割引きっぷ」を発売（名鉄電車駅窓口）

【割引切符の特典】

- 中部国際空港駅までの乗車券片道ごとに1割引
※6歳以上12歳未満の子供運賃は大人の半額（端数切上）
- 粗品プレゼント券（開催当日にゴールで引換）

9月20日（土）から名鉄電車係員配置駅窓口で割引切符が購入できます。



★コース案内 約7.0km 約1時間50分★

名鉄空港線 中部国際空港駅

スタート・受付 セントレアガーデン

飛行機見える丘（1.0km）

空港島東側海岸（3.3km）

貨物地区入口（3.8km）

貨物地区出口（6.2km）

ゴール 旅客ターミナルビル1階（7.0km）

スカイデッキ及び
スカイタウンへ

名鉄空港線
中部国際空港駅

※（ ）はスタートからの距離

【FAX：0587-94-3570】

（FAXの場合は切り取らずA4で送信下さい）

— 平成26年 秋の健康ウォーク参加申込書 —

事業所名 _____

職場名 _____

被保険者氏名 _____

参加人数 _____ 名

電話番号（内線） _____